

第35回全日本実年ソフトボール大会北海道予選会開催要項

1. 主催 (一社)北海道ソフトボール協会
2. 後援 音更町、音更町教育委員会
3. 主管 十勝ソフトボール協会、帯広ソフトボール協会、音更ソフトボール協会
4. 会期 令和7年6月28日(土)～6月29日(日)
*尚大会は、上記の期日で打ち切る。全日本大会の代表が決定しない場合は代表決定戦を行う。
日時・場所は、北海道協会派遣理事と当該チームと協議し、北海道協会が決定する。
5. 会場 音更町営ソフトボール専用球場AB球場
6. 参加チーム数 参加チーム数の制限は設けない。
但し、「7参加資格」及び「8出場資格」の条件を満たしたチームに限る。
7. 参加資格 (1)令和7年度北海道ソフトボール協会に各地区を通して加盟登録した実年チーム
(2)所属長が身体、人物共に適当と認めた者。
(3)令和7年4月1日現在50歳以上の男子で構成されているチームとする。
(4)本北海道予選会において優勝した場合は、理由の如何を問わず全国大会に北海道代表として参加でき得るチームであること。また、準優勝した場合は、理由の如何を問わず東日本大会に北海道代表として参加でき得るチームであること。
8. 出場資格 (1)本大会に出場するチームは、所定の予選会又は推薦を経て出場権を得たチーム
(2)チームの編成は最終予選終了時までに北海道ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会出場申込以後のメンバー変更は認めない。
(3)チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。
但し、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録しなければならない。
※通訳1名(外国人がいる場合に限り)のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※監督、コーチの中で次の①～③の資格を有する者がいること。
監督、コーチが資格を有していない場合においてはチーム内に有資格者(監督代行になりうる者)がいなければならない。
①コーチ1(指導員)コーチ2(上級指導員)コーチ3(コーチ)コーチ4(上級コーチ)
③公認準指導員
有資格者は、登録証を携帯し、大会競技委員長に提示を求められた場合には必ず提示しなければならない。有資格者を確認できない場合は没収試合になる場合がある。
9. 申込方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記のうえ、各関係の認印を受け、6月7日(土)までに到着するよう、参加料、保険料を添えて現金書留にて下記あてに申し込むこと。
(1)〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1北海道立総合体育センター内
北海道ソフトボール協会 宛 Tel 011-820-1675 FAX 011-820-1676
大会参加申込書 1通(コピー)を郵送またはFAX すること。
(2)〒080-0862 帯広市南の森西4-4-10
十勝ソフトボール協会 理事長 馬淵和平 宛
Tel・FAX 0155-47-3720 携帯:090-3899-0355
大会参加申込書・・・1通(原本)、プログラム掲載用選手名簿・・・1通(原本)
及び 参加料、保険料を現金書留にて郵送すること。
10. 参加料 大会参加料 1チーム25,000円(書留の場合は上記(2)へ送付すること。振込の場合は下記に)上記申込期限までに保険料とともに振り込むこと。振込手数料は各自負担でお願いします。
帯広信用金庫 音更支店 普通 口座番号 1182868
十勝ソフトボール協会 理事長 馬淵和平(マブチワヘイ)
11. 保険料 参加申込書に記載の人数×60円(監督、コーチ、スコアラーも含み、申込書に記載されている全員)
12. 競技規則 2025年度オフィシャルソフトボールルールによる。
13. 試合球 (公財)日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球(ナガセケンコー(株)製)とし、毎試合ごと1個各チーム持ち寄りとする。
14. 試合方法 トーナメント方式による

90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次のイニングよりタイブレーカーにより続行する。但し、タイブレーカーは2イニングまでとしタイブレーカーで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。(決勝戦は除く)制限時間内による得点差コールドゲームは採用しない。

決勝戦については、時間制限を設けず得点差によるコールドゲームを採用する。

サスペンデッドゲームを採用する。

- | | |
|------------|---|
| 15. 表彰 | (1)優勝チームに、表彰状、優勝旗または優勝杯を授与する。
(2)準優勝チーム、3位チームには表彰状を授与する。
(3)優勝旗又は優勝杯は持ち回りとする。 |
| 16. 費用 | 出場選手の旅費、滞在費は全て出場チームの負担とする。 |
| 17. 抽選 | 試合の組み合わせは、北海道協会において、道協会(理事長)・主管協会代表・道協会事務局(事務局長)で代理抽選によって決定する。 |
| 18. 監督会議 | 令和7年6月28日(土)8:15から A球場 |
| 19. 審判記録会議 | 令和7年6月28日(土)8:30から A球場 |
| 20. 開会式 | 令和7年6月28日(土)9:00から A球場 |
| 21. 傷害 | 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行うとともに北海道ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(保険料については参加者負担)の範囲内で補償を行う。参加者全員健康保険証を持参すること。
＜補償内容:死亡、後遺障害 最高450万円、入院日額 4,000円(事故日から180日以内)通院日額2,500円(事故日から180日以内の通院90日程度)＞
(保険料について別途徴収する) |
| 22. その他 | (1)出場チームは必ず監督(責任者)によって引率され、当該チームを掌握すること。
(2)北海道大会で棄権及び不正出場チームの取扱については以下の通りとする。
①棄権チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合を原則出場停止
*組み合わせ抽選終了後の出場辞退(チームの変更も含む)も大会期間中の棄権は上記と同様の処置とする。尚、事故等による理由により棄権する場合は、上適用しない。又、この決定については、北海道協会派遣理事及び大会競技委員長で行う。
※全日本大会、東日本大会、北海道・東北大会の権利を獲得後の出場辞退についても同様の取り扱いとする。
(3)雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(4)宿泊及び昼食の斡旋はしないが、各チームは宿泊先及びその所在地、電話番号を大会事務局へ連絡すること。
(5)ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(6)その他詳細については、参加チームに直接連絡するとともに監督会議で定める。
(7)大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し、明確に記入すること。
(8)試合中における競技場内へのファールボール並びに試合終了後の簡単なグラウンド整備については、選手の皆さんにお願いいたします。
(9)大会会場は全面禁煙となっていますので、保護者・応援の方々の徹底をお願いします。
また、練習場所や駐車場については会場の指示に従ってください。 |

※実年全国大会の開催地及び開催期間

◎優勝チーム・・・第35回全日本実年ソフトボール大会

大会期日:令和7年9月6日～令和7年9月8日

会 場:福島県会津若松市、喜多方市

◎準優勝チーム・・・第19回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会

大会期日:令和7年10月4日～10月5日

会 場:栃木県宇都宮市柳田緑地公園ソフトボール場